

助成制度

厚生労働省・人材開発支援助成金「人への投資促進コース」の活用で、
学費の7.5割～最大約9割が助成されます。

2年間の学費 (修了要件30単位取得の場合)		助成金活用の場合
入学金	30万円	助成金 約231万円 最大約9割 助成
1年次	140万円	
2年次	95万円	
合計 265万円		企業負担34万円(約1割)

人材開発支援助成金とは

従業員の職務に関連した専門的な知識と技能の習得を目的として計画に沿って訓練を実施した場合に、訓練中の賃金と経費の一部を企業(事業主)に対して助成する制度です。訓練によっては、最大約9割の経費助成が受けられます。

※助成金の詳細については、厚生労働省ホームページを必ずご確認ください。
人材開発支援助成金
「人への投資促進コース・成長分野等人材訓練」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
※助成金の活用について、本学事務局でご相談を受けることが可能です。お気軽にお問い合わせください。

企業だけではなく、学校法人や国立大学法人、社会福祉法人なども助成対象です。

学費減免制度

本学独自の学費減免制度を設けています。
半額免除者・・・一定程度 全額免除者・・・若干名

※詳細は募集要項・説明会で説明します。

推薦入試制度

推薦入学入試では筆記試験を免除

受験者の所属する組織の長などの推薦状を提出いただきますと、筆記試験が免除となります。(審査あり)

推薦状は、非推薦者の知識・技能・研究能力に関する記述を求め、書類審査と面接試験とあわせて総合的に評価します。

◎推薦状は本学所定様式をホームページよりダウンロードのうえ、記入してください。

◎受験者の所属する組織の上長や派遣責任者が記入してください。

◎受験者の所属する組織内における派遣制度の利用、または内部選考による合格者を推薦する場合はその旨を記載してください。

※選考時に、推薦理由について推薦者に対して問い合わせを行う場合があります。

※推薦入試の出願資格に該当しないと本学が判定した場合、一般入試として扱う場合があります。

E MBA TECH

教育テック大学院大学
(文部科学大臣認可)

説明会・セミナーの情報は
こちらのQRコードからcheck!



Facebook



<https://www.facebook.com/embatech.official>



X



https://x.com/e_mbatech_info



note



https://note.com/embatech_info/

入間キャンパス
〒358-0033 埼玉県入間市狭山台一丁目3番7 Tel:050-3645-7911

学校法人OCC 教育テック大学院大学 事務局
URL: <https://www.e-mbatech.ac.jp/> Tel:050-3645-7911
Email: office@e-mbatech.ac.jp

法人本部
〒545-0042 大阪府大阪市阿倍野区丸山通1丁目3-61 Tel: 06-6652-2091

銀座オフィス
〒104-0045 東京都中央区築地2丁目1-4 銀座PREX East 5F Tel:050-3645-7911



次代の教育を拓く
変革者が必要だ。

教育DX × 経営

E MBA TECH

教育テック大学院大学

(文部科学大臣認可)

教育DXと経営に特化したフルオンライン大学院

— 教育のMBA —
教育経営学修士

— 教育のIT修士 —
教育情報学修士

「教育DX」と「経営」に特化した、世界初の社会人対象

フルオンライン大学院。

教育の未来を創り、世界を変えよう。

教育・経営・情報 (ICT・AI) の知識・スキルを身につけて教育の未来を構想し、
教育現場と教育機関の経営を変革する人材を養成。

これから予測される 教育の未来。	「学校」の垣根が無くなる？	受験戦争は過去のものに。
	知識インプットは映像配信に。	メタバースで留学、国際交流可能に。
	AI活用が当たり前に。	ペーパーテストが不要に。

etc.

産業界ではDXが進み、次々と新たな価値が生み出されています。

しかし学校など教育機関では、旧来の教育手法をデジタルに置き換える程度で、

社会構造や求められる人材の変化といった、新たな時代が求める変革は起きていません。

教育と経営の危機・課題に応えながら、教育に新たな変革をもたらすために。

教育テック大学院大学は、教育からより良い世界を創るための人材を養成します。

日本・世界の教育界が抱える4つの課題：
教育テック大学院大学は、こう応えます。

1

少子化で危機に直面する
学校経営…

国内外に学校経営を専門的に学ぶ
場がなかった。

実践的な**経営学**を身につけた
経営者を育てる。

教育機関に特化した経営を学ぶことで、
実践的な経営力を持った人材を育成します。

2

教育現場でのICT・AI活用が
まだまだ不十分…

日本は教育現場でのICT端末普及
率が世界一位になったが、その利活用
はこれから。

教育に特化した**ICT教育**で、
教育DXの実現者を。

AIおよびICTの教育への活用方法を学び、
教育現場や教育委員会に人材を輩出します。

3

民間で培った知識・能力を
教育現場で活かせない…

教育機関は他業界と比べて特殊性が
高いうえ、教育に関するリスクリング
や学び直しの場がない。

教育・経営・ICT・AIを
バランスよく学べる環境を。

教育現場の現状に則った経営改革のあり方や、
AI・ICT導入のあり方を学ぶ場を提供します。

4

特にアジア全域では
学校・教育機関が不足…

UNESCOの統計によれば世界の高等
教育在籍者は年約700万人ペースで
増加している。

グローバルな教育の
ニーズに応える教育体制を。

教育機関や企業で働く外国籍の人に向けて、グ
ローバルな教育ニーズに応える教育を実施します。



学生像 ※2年以上の実務経験者(社会人)

あらゆる分野の教育関係者が対象です。大卒ではない場合でも、出願できます。

- 幼稚園教諭・保育士
- 小中高大の教職員
- 塾・研修機関の教職員
- 生涯教育に携わる方
- 教育委員会や行政の職員
- 組織の人材育成担当者
- 外国籍で日本の教育や経営を学びたい方
- 民間企業等で教育界を目指す方 …etc

目指す姿

- 学校・教育機関のマネジメント職
- 教育・学校CIO、AI活用・DX推進リーダー
- 新たな教育プログラムを開発する
- 新たな教育ソリューションを開発する
- 組織の人材育成を設計する
- セカンドキャリアの基盤をつくる
- 民間企業等から大学教員になる …etc

次代の教育経営者・教育改革者を目指す2つのコース／学位

教育経営コース

目指す学位
教育経営学修士
— 教育のMBA —

MEBA (Master of Educational Business Administration)

教育界の課題をグローバルな視点で科学的に分析し、特に経営学の知識・スキルで
未来の教育機関の経営を変革できる人材、そして教育テックによる社会変革に参
画・実現できる人材を養成します。

〈学びの内容〉
・教育機関の経営
・自治体の教育政策
・国の教育政策

〈修了後の活躍のイメージ〉
・学校・教育機関、行政・教育委員会(教育庁)、
企業・人材育成のマネジメント職

教育情報コース

目指す学位
教育情報学修士
— 教育のIT修士 —

MEIT (Master of Educational Information Technology)

グローバルな視点で教育界の課題を分析し、特に情報学の知識・スキルから、デジ
タル教育環境の実現やデジタル人材の養成、さらに教育テックによる社会変革に参
画・実現できる人材を養成します。

〈学びの内容〉
・ICTの教育利用の基礎
・各教育段階でのICT活用
・未来の教育応用

〈修了後の活躍のイメージ〉
・CIO (Chief Information Officer)
・AI・ICTを活用した教育を提供する教職員
・教育DX推進者

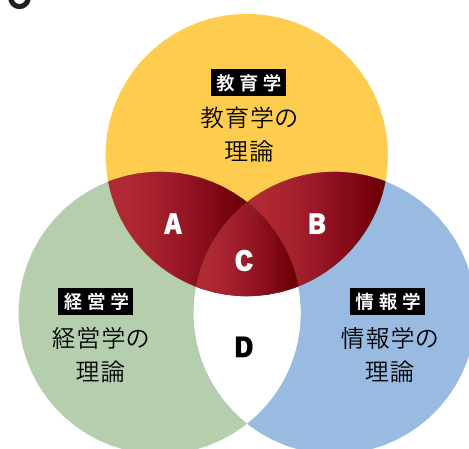
「社会人が学ぶ」ことに特化した 学習環境。フルオンライン

学際的に学ぶ。働きながら学ぶ。

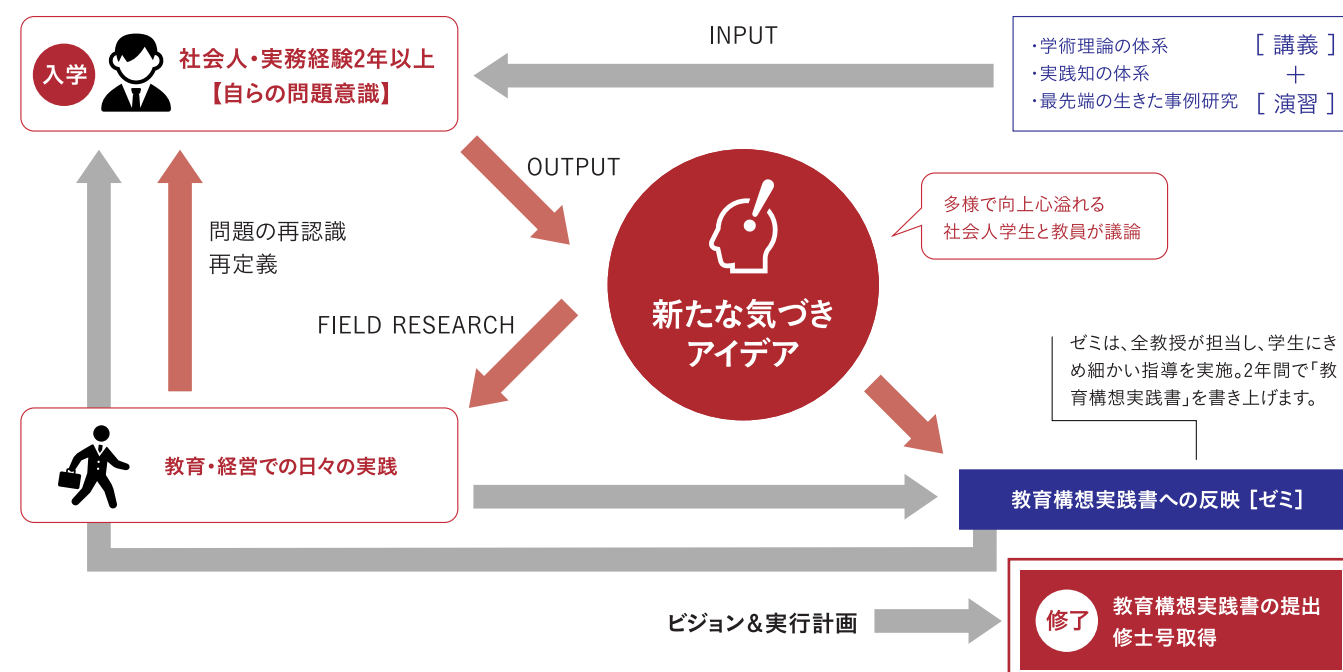
◎教育テック大学院大学の教育・研究領域

「教育テック学」は、「教育学」「経営学」「情報学」の3つの学問が交差した部分にあたる学際領域(右図のABCD領域)の“総称”。現代の教育界における課題解決には、経営学や情報学(ICT)の知見が必須です。そのため本学では、右図のABC領域を教育・カリキュラムの範囲とし、教育学に対して、情報学・経営学を実践的に「活用・応用」する教育を実施します。

●教育テック大学院大学の教育対象領域	●教育テック学の研究領域	●教育テック大学院大学の教育以外の研究領域
[A + B + C]	[A + B + C + D]	[D]



◎働きながら学ぶことで得られる効果



◎特長

フルオンラインの大学院だから、

- 1 多忙な社会人でも受講可能。ビデオ補講もOK。
※AI・ICTや先進的な授業方法を取り入れた効率的な学び。
- 2 働きながら学べる。平日夜間と土曜日中開講。
※平日夜1～2日、土曜日中の受講で修了に必要な30単位の取得が可能。
- 3 仕事・家庭と、大学を両立できる。
※リアルタイムに受講できない場合でも、オンデマンド(ビデオ録画)の視聴で学習可能。



◎カリキュラム概要 【教育情報・経営リーダーシップ研究科】

	教育経営コース	両コース共通	教育情報コース
必修科目	研究指導科目群 ●教育構想研究(I) ●教育構想研究(II)	展開科目群 ●教育テック総論 ●教育データ・アナリティクス論(I) ●教育データ・アナリティクス論(II) ●教育デジタルエコシステム概論 ●教育テック事例研究(I) ●教育テック事例研究(II) 研究指導科目群 ●教育構想演習(I) ●教育構想演習(II)	研究指導科目群 ●教育構想研究(I) ●教育構想研究(II)
	コース必修:4単位	必修:15単位	コース必修:4単位
選択科目	展開科目群 ●教育政策論 ●ソーシャル・アントレプレナーシップ論 ●教育マーケティング・広報ブランディング ●教育機関と経営戦略論 ●教育マネジメント論 ●教育人材マネジメント論 ●教育ファイナンス論 ●教育経済学	選択科目群 ●教育学特殊講義 ●教育国際論 ●教育効果論 ●教育国際交流演習 ●持続可能な開発のための教育 ●教育デジタルエコシステム演習 ●教育テックの倫理的・法的・社会的な課題(ELSI)	展開科目群 ●教育テックのためのICT基礎 ●プログラミング特論 ●カリキュラム・マネジメント ●ICTを活用した就学前教育 ●ICTを活用した初等中等教育 ●ICTを活用した高等教育 ●ICTを活用した特別支援教育 ●XRの教育応用
	コース要件:4単位	修了要件:4単位	コース要件:4単位
	小計:コース毎8単位	小計:19単位	小計:コース毎8単位
	小計:選択科目より3単位以上		
	修了要件:合計 30単位以上		

オンライン&オフラインで学び、活発な交流機会を

授業・ディスカッション・交流をフルオンラインで～デジタルエコシステム～

学生同士のディスカッションをフルオンラインで実施できるほか、オンラインデータベースでの学術資料の閲覧やオンデマンド学習も可能。



メタバース上での授業外交流

メタバース空間で学生同士、教職員との会話が出来ます。授業外でも交流を行い、卒業後にも活きる仲間づくりを。



大阪・関西万博パビリオンでの実習機会を提供

大阪・関西万博のパビリオン「ジュニアSDGsキャンプ」で、SDGs教育を実践し、その成果を世界に発信。早期合格者は入学前よりプロジェクトに参加可能です。(課外活動)



対面交流の機会：合宿・フォーラムなど

5月にはチームビルディング合宿(1泊2日)、8月と2月には教育テックフォーラムを開催します。その他ゼミ合宿を実施する場合もあります。



教員 一 覧

幅広い分野の教員から教育テックを学ぶ

教育学、経営学、経済学、最新ICT分野まで。

各分野での豊富な実績と経験を持つ教員たちが集結。

知の結集によって次代の教育を創る人材を養成していきます。



教育改革・学校改革の実践

理事長・
特任教授 **根岸 正州**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育機関と
経営戦略論



情報科学、VR/AR/MR、
教育へのICT活用

学長・
教授 **竹村 治雄**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育テックのための
ICT基礎、XRの教育応用、教育構想演
習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



CG、VRプログラミング

教授 **河崎 雷太**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育テックのための
ICT基礎、プログラミング特論、教育構
想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



情報学・教育学・
教育デジタル・エコシステム

教授 **山田 恒夫** (2026年度より)

〈担当科目〉
教育テック総論、教育デジタルエコシ
テム概論、教育デジタルエコシステム演
習、教育テックのためのICT基礎、教育構
想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



保育テックの研究・実践

教授 **大和田 茂**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育構想演習(Ⅰ)
(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



情報教育・教育経営、
元教育CIO補佐官

教授 **松田 孝**

〈担当科目〉
教育テック総論、ICTを活用した初等
中等教育、教育構想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教
育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



経営学者・実務家、
組織・広報・財務論

教授 **柴山 慎一**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育マーケティング・
広報ブランディング・教育構想演習
(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



理論経済学、マクロ経済学、
環境経済学

教授 **秋田 次郎**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育データ・アナリ
ティクス論(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想演習(Ⅰ)
(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



公教育経営学・教育行政学・
学校経営学

教授 **木岡 一明**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育政策論、教育機関
と経営戦略論、教育マネジメント論、教育
構想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



学校改善、働き方改革、
リーダーシップ、教育政策

教授 **妹尾 昌俊**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育マネジメント論、
教育人材マネジメント論、教育構想演
習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



幼児教育・保育研究者・実務家

教授 **山本 淳子**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育構想演習(Ⅰ)
(Ⅱ)、教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



SDGs教育、社会起業家研究、
事業構想学

教授 **大和田 順子**

〈担当科目〉
教育テック総論、持続可能な開発のた
めの教育、ソーシャル・アントレプレ
ナーシップ論、教育構想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、
教育構想研究(Ⅰ)(Ⅱ)



教育学、教育行政学

教授 **藤本 典裕**

〈担当科目〉
教育テック総論、教育学特殊講義、教
育構想演習(Ⅰ)(Ⅱ)、教育構想研究
(Ⅰ)(Ⅱ)



文部科学行政、教育政策

特任教授 **合田 隆史**

〈担当科目〉
教育効果論、教育マネジメント論、教
育ファイナンス論



環境経済学、応用経済学

客員教授 **日引 聡**

〈担当科目〉
教育データ・アナリティクス論(Ⅰ)(Ⅱ)



カリキュラム・マネジメント

客員教授 **田村 知子**

〈担当科目〉
カリキュラム・マネジメント



教育心理学・幼児心理学・
教育国際交流

客員教授 **戸田 有一**

〈担当科目〉
教育国際交流演習



教育工学・情報教育・幼児教育

客員教授 **堀田 博史**

〈担当科目〉
ICTを活用した就学前教育



教育工学・大学教育学・
ELSI(倫理的・法的・社会的課題)

客員教授 **村上 正行**

〈担当科目〉
ICTを活用した高等教育



大学IR、教育効果論

客員教授 **山田 礼子**

〈担当科目〉
教育効果論



医学の教育への応用

特任教授 **林 正幸**

〈担当科目〉
教育テックの倫理的・法的・社会的な
課題(ELSI)



特別支援教育のテクノロジー活用

客員教授 **金森 克浩**

〈担当科目〉
ICTを活用した特別支援教育



財務・会計、私学経営

特任教授 **植草 茂樹**

〈担当科目〉
教育ファイナンス論



教育経済学

客員教授 **北條 雅一**

〈担当科目〉
教育経済学



保育学・子ども学、教育国際論

客員教授 **村知 稔三**

〈担当科目〉
教育国際論



教育哲学、教育国際論

客員教授 **太田 明**

〈担当科目〉
教育国際論



教育経営・テック実務家

特任講師 **原山 青士**

〈担当科目〉
教育テック事例研究(Ⅰ)(Ⅱ)



私学経営・産学官連携の実践

理事
特任講師 **都築 稔**

〈担当科目〉
サーティフィケートプログラム
教育機関のガバナンス、社会貢献の
実装、組織改革の戦略などを指導



IT・製造業(自動車)におけるデジタル
イノベーションとソフトウェア産業に
おける経営戦略

特任教授 **石黒 裕太郎**

〈担当科目〉
サーティフィケートプログラム
製造業(特に自動車産業)における
デジタル化・経営変革に関して指導



教育経営・テック実務家

事務局長・
特任講師 **織田 竜輔**

〈担当科目〉
教育テック事例研究(Ⅰ)(Ⅱ)

※2025年10月時点

この他にも、各界で実践豊富な教員陣が
在籍しています。

社会へのコミット

すでに50以上の保育園で実装 保育園向けソリューションを開発

AIカメラ記録データを利用し
て保育者・子どもの人数や行
動量を可視化。保育の質評価
を実現するシステムを開発し、
すでに50以上の保育園で実
装されています。

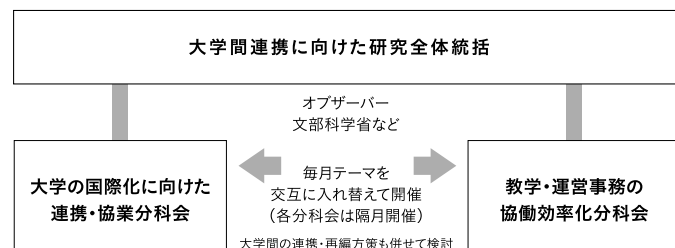


〈映像解析〉

Team Swimmy 大学経営研究会

2025年度のテーマ
「生成AI・国際化」

学校間連携・再編による学校機能強化に向けたディスカッションや、国内外の大学連
携・再編事例の共有・ディスカッション、補助金等も活用したトライアル活動の企画・
進捗報告、文部科学省との連携・政策提言を目標に研究活動を行っています。



大阪府・教育委員会との連携協定 リーディングGIGAハイスクール事業 共同研究・教員研修

大阪府下の府立高生約11万人・モデル校30校のデータ分析・共同研究・教
員研修を実施。ICTを活用した効果的な教育方法の確立、エビデンスに基
づく効果検証・改善を目指しています。



教育テックフォーラムの開催

2023年より、幼児教育から高等教育ま
ですべての教育関係者を対象とした
フォーラムを開催。教育会のオピニオン
リーダーが集まり、教育とテクノロジー
の現在地や将来像など、最新情報を取り
扱っています。

